

「広報・県民運動専門委員会」

第14回会議 次第

日 時：令和元年5月10日（金）14:00～16:00

場 所：大津合同庁舎7-D会議室

1. 開 会

2. 開会挨拶

3. 審議事項

(1) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
広報・啓発活動平成30年度取組実績（案）について

(2) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
広報・啓発活動平成31年度取組計画（案）について

(3) 第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会広報・県民運動専門委員会部会設置要綱（案）
について

4. 説明・報告事項

(1) 愛称・スローガンロゴデザインについて

(2) モザイクアートポスターについて

5. 閉 会

配席図

出入り口

上田副委員長◎ ◎井口委員長

東 委員◎			◎野村委員
板倉委員◎			◎馬場委員
市岡委員◎ (代理 坂本様)			◎廣瀬委員
上村委員◎			◎松田規久子委員
北川委員◎			◎松田千春委員
清水委員◎			◎村松委員
高山委員◎			◎八木委員
寺田委員◎			

記者席

傍聴者席

事務局

◎山口主査
◎中嶋管理監
◎高木課長補佐

後列
事務局

◎川瀬主査
◎川原主査
◎永井課長補佐

出入り口

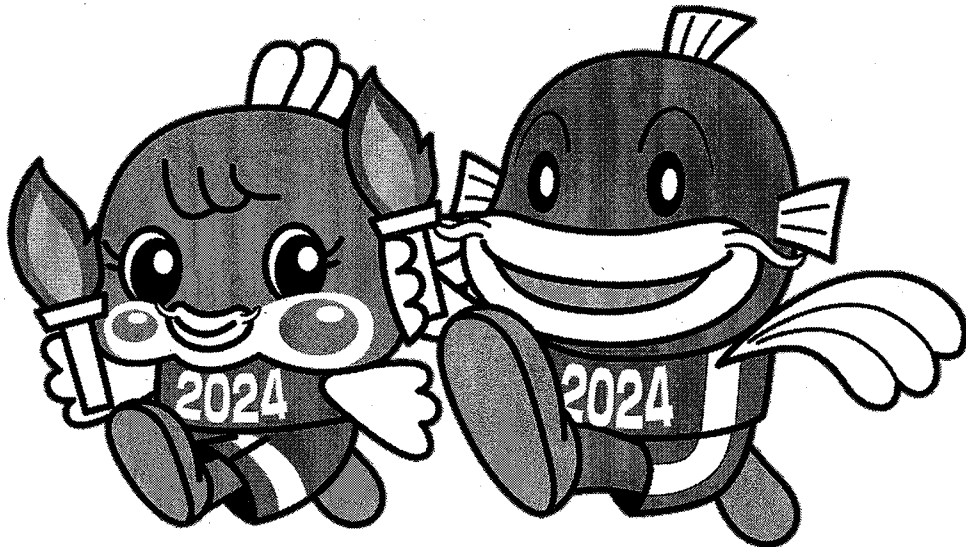


第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会

滋賀県開催準備委員会

第14回広報・県民運動専門委員会

会議資料



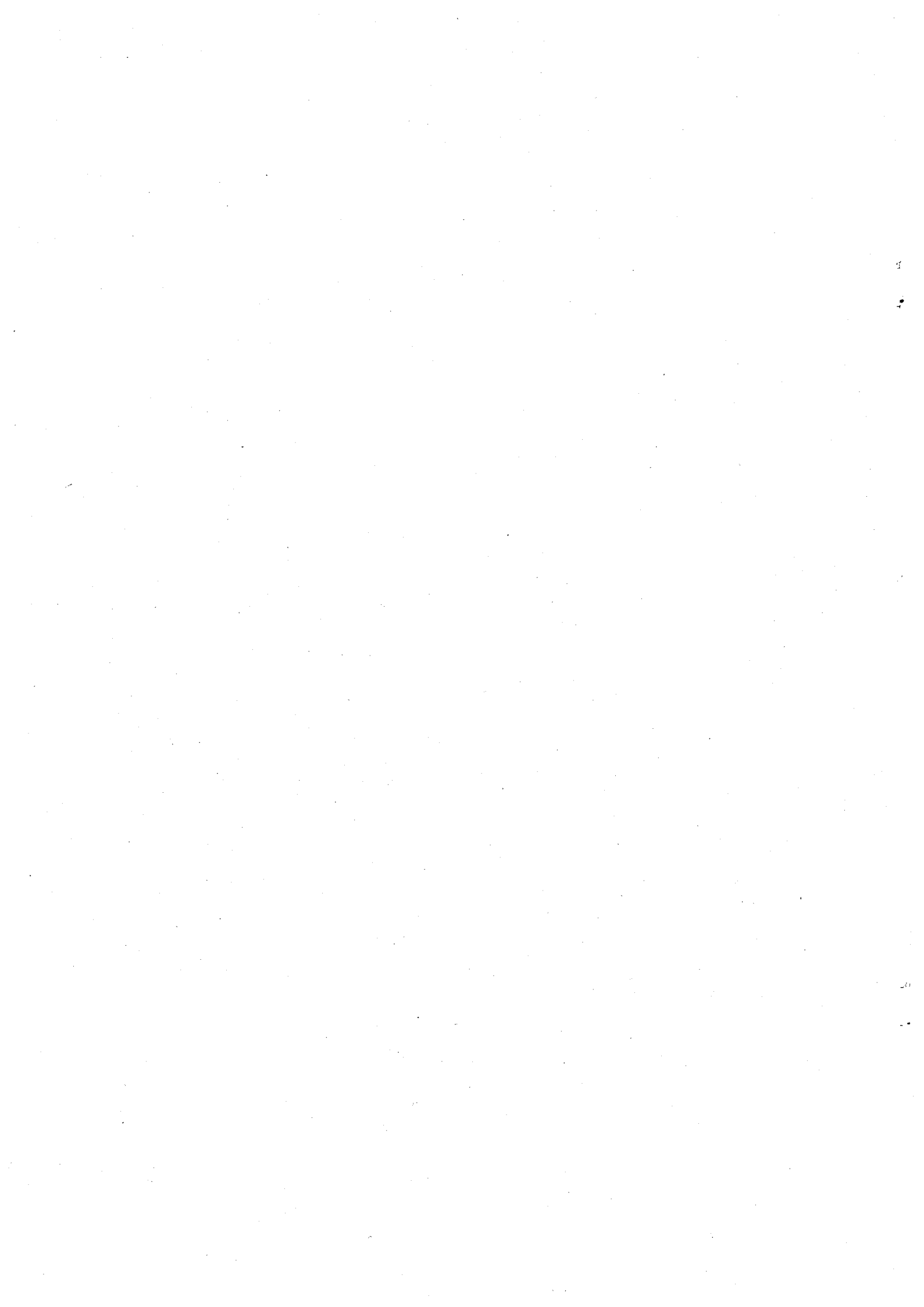
第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクター

チャップイー

キャップイー

日時：令和元年5月10日(金)14:00～16:00

場所：大津合同庁舎7-D会議室



「広報・県民運動専門委員会」委員名簿

(順不同・敬称略)

番号	分野	所属団体・役職名	氏名	備考
1	マスコミ	日本放送協会大津放送局 副局長	村松 泰	
2		びわ湖放送株式会社 放送管理局報道制作部グループリーダー	坂田 しのぶ	
3		株式会社京都放送滋賀支社 支社長	宮本 英樹	
4		株式会社京都新聞社滋賀本社 編集局 編集部長	松田 規久子	
5		株式会社中日新聞社大津支局 支局長	嶋津 栄之	
6		株式会社エフエム滋賀 編成制作部 部長	糸井 孝実	
7	スポーツ	公益財団法人滋賀県スポーツ協会 生涯スポーツ担当次長 兼 広域スポーツセンター次長	野村 智洋	
8		滋賀県障害者スポーツ協会 副主幹	吉成 永部	
9	経済・福祉・ 観光・社会	滋賀県商工会議所連合会 滋賀県中小企業相談所専門指導室 室次長	西村 綾子	今回から 就任
10		社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 常務理事 兼 事務局長	北川 肇	
11		公益社団法人びわこビジターズビューロー 事務局長	上田 重和	今回から就任 副委員長
12		公益財団法人淡海文化振興財団 常務理事 兼 事務局長	東 登志也	
13		滋賀県地域女性団体連合会 副会長	上村 照代	
14		一般財団法人滋賀県老人クラブ連合会 事務局長 兼 常務理事	八木 兵次郎	
15		滋賀県青年団連合会 会長	市岡 新也	
16	学校関係	滋賀県小学校長会 副会長	中村 康春	
17		滋賀県中学校長会 副会長	中村 俊英	
18		滋賀県高等学校長協会 会長	藤井 晃一	今回から 就任
19		滋賀県私立中学高等学校連合会 副会長	寺田 佳司	
20		滋賀県特別支援学校長会	井尻 正志	
21	有識者	同志社大学政策学部 教授	井口 貢	委員長
22		株式会社TMオフィス チーフPRディレクター	馬場 大輔	今回から 就任
23		コミュニケーション・プランニング chocomaka 代表	廣瀬 香織	
24	市町	東近江市企画部広報課長	高山 幸生	今回から 就任
25		豊郷町企画振興課長	清水 純一郎	
26	県	滋賀県知事公室広報課長	松田 千春	今回から 就任
27		滋賀県総合企画部県民活動生活課県民活動・協働推進室長	板倉 成子	

審議事項

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
広報・啓発活動 平成30年度取組実績(案)

1 愛称・スローガン等による広報

2024年に滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の愛称・スローガンの募集・決定を行うとともに、大会マスコットキャラクターの使用機会の拡大をはかるため、競技別公式デザインを作成した。

(1) 大会愛称・スローガンの決定

応募・投票に際しては、しがネット受付や、郵送、各種イベントでの直接受付など、多くの方に参加してもらえるよう機会の確保に努めた。また、各学校に積極的に協力を呼びかけたところ、特に大会の主役となる若い世代から多数の応募・投票をいただいた。

◆大会愛称・スローガン募集

募集期間：平成30年9月20日(木)～平成30年11月12日(月) (54日間)

応募総数：(愛称) 10,601件 / (スローガン) 10,209件

⇒部会および専門委員会において候補選定(最終候補アイデア5点を選定)

◆最終候補作品に対する一般の方からの投票

投票期間：平成31年1月16日(水)～平成31年1月31日(木) (16日間)

投票数：(愛称) 10,722票 / (スローガン) 10,567票

⇒投票結果を参考に専門委員会で入賞作品を決定・部会にてロゴデザイン決定

⇒決定報告および受賞者表彰式(平成31年3月26日(火))

◆最優秀賞作品および受賞者

愛称：わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ

受賞者：本多 美喜さん(滋賀県立草津東高等学校2年(当時))

スローガン：湖国の感動 未来へつなぐ

受賞者：小笠原 登真さん(滋賀県立守山中学校2年(当時))

(2) 大会マスコットの活用

ア 競技別公式デザイン

県や市町ならびに競技団体および企業等が制作する広報ポスターやグッズ等に使用いただけるよう、大会マスコットキャラクターの競技別公式デザインを作成した。

◆国民スポーツ大会

正式競技(46種目)、特別競技(1種目)、公開競技(7種目)

◆全国障害者スポーツ大会

正式競技(15種目) ※うち8種目が国スポと共通

イ 貸出用着ぐるみの作製

あらたに一般貸出し用の着ぐるみを作製し、地域のスポーツ大会やイベント等で活用いただいた。(H30年度実績：36件)

2 各種広報物品による広報

(1) モザイクアートポスターの作成

「滋賀県の魅力またはスポーツ・運動の魅力を表現した写真」をテーマに、県内外から写真を広く募集し、県民参加型のポスターを作成した。

◆モザイクアートポスターに係る写真募集

募集期間：平成30年9月20日(木)～平成30年11月30日(金) (72日間)

応募写真数：2,097点

(内訳) Twitter	64点 (3.0%)
Instagram	676点 (32.2%)
メール	37点 (1.8%)
しがネット受付	828点 (39.5%)
イベントでの応募	492点 (23.5%)

⇒令和元5月に関係機関(約800カ所)に配付・掲示予定。

(2) 広報グッズの作成

ピンバッジ(1種類、1,000個)やキャラクター名刺(1種類、2,500枚)、うちわ(1種類、1,000枚)、テーブルクロス(2種類、2枚)、広告入りポケットティッシュ・カイロ等の広報グッズを作成し、寄附に対する返礼や広報活動時の啓発用として活用した。

3 多様なメディアによる広報

インターネットを通じたより効果的な情報発信を行うため、県公式Facebookや民間テレビ・ラジオ番組のほか、スポーツ情報誌など様々な広報媒体を活用した広報を行った。

(平成30年度実績:31件)(別紙のとおり)

4 イベント等による広報

◆大会専用ホームページ等の運用

開催準備に係る様々な情報・内容を整理し、分かりやすいホームページを構築し運用した。また、モザイクアートポスターに係る写真募集に際しては、インスタグラムやツイッターを活用した応募システムを構築し、幅広く募集を行った。さらには、天皇盃第24回全国男子駅伝における企画において、滋賀県選手の応援動画を制作し、インターネット動画投稿サイトで公開した。

(1) 県や市町、各種団体等が主催するイベントにおけるPR活動等の実施

(平成30年度実績:47件)(別紙のとおり)

(2) 「しがスポーツ大使」の参加するイベントとのタイアップ

→街頭募金(東レアローズ、江上陽子選手)

(平成30年度実績:1件(2カ所))

(3) 出前講座を活用した広報

→各種団体等が主催する会議等において、大会の開催準備状況について説明を行った。

(平成30年度実績:9件)(別紙のとおり)

5 屋外広告物による広報

福井国体・大会の会期に合わせ、滋賀県大津合同庁舎の南側壁面（JR線路側）に特大横断幕を掲出した。（掲出期間：平成30年10月1日～10月31日）

6 映像等による広報

大会開催の周知に向けて、各種イベントにおいて、ジュニア・ユースチームが制作したPR動画（3種類）や、「びわこ国体」の記録映像等を上映した。

◆多様なメディアによる広報

放送・掲載日	発信媒体	番組・掲載場所等	備考
平成30年			
6月12日	滋賀県公式Facebookおよびtwitter	滋賀県公式Facebookおよびtwitter	ジュニア・ユースチーム第5期生メンバー募集について
7月上旬	ラジオ(エフエム滋賀)	番組でのCM	ジュニア・ユースチーム第5期生メンバー募集告知
9月7日	ラジオ(エフエム滋賀)	シガスポ!	ジュニア・ユースチーム第5期生活動紹介
9月~11月	広報誌	県内18市町発行の広報誌	愛称・スローガン募集告知
9月	雑誌・インターネット	登竜門	愛称・スローガン募集告知
9月	雑誌・インターネット	公募ガイド	愛称・スローガン、モザイクアートポスター写真募集に係る告知
10月~11月	広報誌	県内9市町発行の広報誌	モザイクアートポスターに係る写真募集に関する告知
10月5日	ラジオ(エフエム滋賀)	シガスポ!	愛称・スローガン募集に関する告知
10月5日	新聞	中日新聞	愛称・スローガン募集に関する告知
10月6日	新聞	新聞広告(6社)	愛称・スローガン募集に関する広告
10月9日	広報誌	Bispo!+	競技会場内定、ジュニア活動内容、愛称・スローガン、モザイクアートポスター写真募集告知
10月9日	テレビ	NHK「おうみ630」・「おうみ845」	愛称・スローガン募集に関する告知
10月12日	ラジオ(エフエム滋賀)	シガスポ!	モザイクアートポスターに係る写真募集に関する告知
10月22日	雑誌	懸賞ナビ12月号	愛称・スローガン募集告知
10月26日	ラジオ(エフエム滋賀)	滋賀プラスワンインフォメーション	愛称・スローガン募集に関する告知
11月1日	テレビ	びわ湖放送「キラりん滋賀」	愛称・スローガン、モザイクアート写真募集告知
11月8日	新聞	滋賀報知新聞	モザイクアートポスターに係る写真募集に関する告知
11月9日	ラジオ(エフエム滋賀)	滋賀プラスワンインフォメーション	モザイクアートポスターに係る写真募集に関する告知
12月26日	動画投稿サイト(YouTube)	天皇盃 第23回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会ホームページ	キャプチャー・チャッフィーによる滋賀県選手への応援動画
12月27日	広報誌	Bispo!+	広報啓発活動状況、愛称・スローガンおよびモザイクアート写真募集にかかるお礼
平成31年			
1月17日	ラジオ(エフエム滋賀)		愛称・スローガンの最終投票について
1月19日	新聞	京都新聞・中日新聞	愛称・スローガンの最終投票について
1月29日	新聞	毎日新聞	愛称・スローガンの最終投票について
3月2日	ラジオ(エフエム滋賀)	滋賀ダイハツ販売smile-radio内キラキラ☆ドリームカンパニー	ジュニア・ユースチーム第5期生活動紹介
3月5日	滋賀県公式Facebookおよびtwitter	滋賀県公式Facebookおよびtwitter	ジュニア・ユースチーム第5期生活動報告会・解団式開催について
3月7日~10日	新聞	毎日新聞	国スポ・障スポ開催PR
3月20日	広報誌	Bispo!+	ジュニア・ユース事業報告・企業向け広告
3月25日	テレビ	びわ湖放送「キラりん滋賀」	ジュニア・ユースチーム第5期生活動紹介
3月26日	テレビ	NHK「おうみ630」・「おうみ845」	愛称・スローガン決定について
3月26日	テレビ	BBCニュース	愛称・スローガン決定について
4月	広報誌	LakesMagazine	ジュニア・ユース事業報告、愛称・スローガン決定報告、企業向け広告

※その他、県公式SNS(facebook, twitter)や各種団体のSNS、チラシ配付等で情報発信

平成30年度実績:31件

◆イベント等での広報・啓発活動の実績

実施日	内容	実施場所	備考
平成30年			
4月27日	キャプチャー誕生日に係る記念撮影会	滋賀県庁	キャプチャー・チャッフィーで写真撮影会
5月20日	第35回 大津っ子まつり	大津市皇子が丘公園一帯	チラシ・ティッシュ配付、キャプチャー・チャッフィーとの写真撮影、動画上映、ステージでダンス
6月13日	チャッフィー誕生日に係る記念撮影会	滋賀県庁	キャプチャー・チャッフィー・スフラで写真撮影会
7月7日	スペシャルスポーツカーニバル	県立長浜ドーム	荒天によりイベント中止
7月21日	「みんなで創る 健康しが」キックオフイベント	イオンモール草津	チラシ・ティッシュ配付、キャプチャー・チャッフィーとの写真撮影、ステージPR、募金活動
8月4日	第3回BIWAKO 湖フェス2018	サンシャインビーチ	チラシ・ティッシュ配付、キャプチャー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動

8月12日	イナズマフードGP in草津	JR草津駅東口 西友跡地	キャッフィー・チャッフィーステージでPR
8月24日	カゴメ劇場	びわ湖ホール	チラシ・ティッシュ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影
8月26日	ジュニア・ユースチーム第5期生結団式	びわこ成蹊スポーツ大学	チラシ配布
9月1日	日本生命みんなの2020全国キャラバン	イオンモール草津	チラシ・ティッシュ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動、動画上映
9月2日	日本生命みんなの2020全国キャラバン	イオンモール草津	チラシ・ティッシュ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動、動画上映
9月15日	第27回全国市町村交流レガッタ大津大会	県立琵琶湖漕艇場周辺	チラシ・ティッシュ配付、募金活動
9月17日	じんけんフェスタしが2018	ピアザ淡海	チラシ・ティッシュ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動、動画上映
9月20日	福井しあわせ元気国体・大会滋賀県選手団結団壮行式	ピアザ淡海	チラシ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影
9月22日	イナズマロックフェス2018	烏丸半島	チラシ・ティッシュ・うちわ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、ステージPR、募金活動
9月23日	イナズマロックフェス2018	烏丸半島	チラシ・ティッシュ・うちわ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、ステージPR、募金活動
9月24日	イナズマロックフェス2018	烏丸半島	チラシ・ティッシュ・うちわ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、ステージPR、募金活動
9月30日	滋賀県障害者スポーツ大会	布引運動公園	荒天によりイベント中止
10月3日	第14回滋賀のええもんうまいもん祭り	大津西武ショッピングセンター	チラシ・ティッシュ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、ステージPR、募金活動
10月13日	交通安全フェア	ドラゴンハット	チラシ・ティッシュ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動
10月16日	近江ゆかりの会	ここ滋賀、品川プリンスホテル	チラシ・ティッシュ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、ステージPR、募金活動、動画上映
10月20日	ご当地キャラ博in彦根2018	彦根市夢京橋キャッスルロード周辺	チラシ・カイロ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動、動画上映
10月21日	ご当地キャラ博in彦根2018	彦根市夢京橋キャッスルロード周辺	チラシ・カイロ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、ステージPR、募金活動、動画上映
11月3日	「ここ滋賀」1周年記念イベント	ここ滋賀	ステージPR、ブースでのチラシ配布
11月4日	ボールゲームフェスタ	皇子が丘公園体育館	チラシ・ティッシュ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動
11月10日	しがスポーツフェスティバル	イオンモール草津	チラシ・ティッシュ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、ステージPR、募金活動
11月11日	しがスポーツフェスティバル	イオンモール草津	チラシ・ティッシュ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、ステージPR、募金活動
11月16日	平成30年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	栗東芸術文化会館さくら	チラシ配布
11月25日	びわ湖男女駅伝フェスティバル2018	希望ヶ丘文化公園	チラシ・ティッシュ・カイロ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動
12月2日	滋賀の「食」から「健康」を考えるフォーラム	ビバシティ彦根	チラシ・ティッシュ・カイロ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動
12月2日	Vプレミアリーグ	ウカルちゃんアリーナ	チラシ・ティッシュ・カイロ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動
12月16日	車いすバスケットボール大会 BIWAKOCUP2018	大津市立におの浜ふれあいスポーツセンター	チラシ・ティッシュ・カイロ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動
12月18日	キラリ☆スポーツ応援の日	知事公館	缶バッジ配付・キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影
12月28日	お餅つき	滋賀県庁正面玄関前	ティッシュ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影
平成31年			
1月20日	第31回全国マシニング大会近畿ブロック大会	ウカルちゃんアリーナ	愛称・スローガン最終候補作品への投票、チラシ・ティッシュ・カイロ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動
1月23日	愛称・スローガン投票呼びかけ	滋賀県庁本館・新館玄関	愛称・スローガン最終作品への投票
1月24日	第25回特別支援学校スポーツ交流大会	野洲市総合体育館	愛称・スローガン最終候補作品への投票、チラシ・ティッシュ・カイロ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影
1月25日	第26回特別支援学校スポーツ交流大会	野洲市総合体育館	愛称・スローガン最終候補作品への投票、チラシ・ティッシュ・カイロ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影
1月28日	愛称・スローガン投票呼びかけ	滋賀県庁内	愛称・スローガン最終候補作品への投票
2月2日	2024国スポ記念講演会	ピアザ淡海	チラシ・ティッシュ・カイロ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動
2月13日	スポーツ大賞・スポーツ賞・スポーツ顕彰表彰式	滋賀県庁内	缶バッジ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影
2月24日	びわ湖レイクサイドマラソン	烏丸半島	チラシ・ティッシュ・カイロ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動
3月3日	地域スポーツシンポジウム	立命館大学びわこ・くさつキャンパス	チラシ・ティッシュ・カイロ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動
3月10日	びわ湖毎日マラソン大会	皇子山陸上競技場	チラシ・ティッシュ・カイロ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動
3月13日	キラリ☆スポーツ応援の日	滋賀県庁	缶バッジ・ステッカー配付・キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影
3月17日	ジュニア・ユースチーム第5期生活動報告会・解団式	コラボしが21	チラシ・ティッシュ・カイロ配付、キャッフィー・チャッフィーとの写真撮影、募金活動
3月26日	記者会見	知事公館	愛称・スローガン決定報告、モザイクアートポスター披露

平成30年度実績: 47件

◆出前講座

月日	内容	場所	備考
平成30年			
5月10日	滋賀県経済団体連合会と行政との連絡調整会議	滋賀県庁	
5月14日	滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合 総会	ロイヤルオークホテル	
5月17日	滋賀県医師会 地域職域医師会長会議	滋賀県医師会	
5月24日	専任手話通訳者会議	滋賀県庁	
7月10日	守山商工会議所 常任委員会	守山商工会議所	
7月11日	郡市体協研修会	ピアザ淡海	
11月5日	市町長期実地研修生研修	滋賀県庁	
12月7日	大阪滋賀県人会	ヴィアーレ大阪	
平成31年			
2月13日	包括連携協定締結企業・大学への来年度予算等説明会	滋賀県庁	

平成30年度実績:9件

平成30年度の取組実績

マスコットキャラクター競技別デザインの制作

国スポ 正式競技 46種目 障スポ 正式競技 15種目(うち 8種目共通)
 特別競技 1種目
 公開競技 7種目



うちわ

マスコットキャラクター名刺



カイロ (2種類)

キャラクター	プロフィール
<p>キヤッフィー</p> <p>誕生日 2007年4月27日生まれ</p> <p>出身地 京都府・竹生町</p> <p>性格 不器用だが、自分のことを「ぼく」と呼びます</p> <p>特技 どんくさいなりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命</p> <p>子ども好きで人を癒し家畜することが大好きです</p> <p>好きな食べ物 エビ</p> <p>得意技 キヤッフィーターン</p>	<p>チャッフィー</p> <p>誕生日 2009年6月13日生まれ</p> <p>出身地 京都府・竹生町</p> <p>性格 不器用ですが、自分のことを「あたし」と呼びます</p> <p>特技 泳ぐことが得意ですが、陸での大活躍は少し苦手です</p> <p>「キヤッフィー」に恋心を抱いています。少しどんくさい「キヤッフィー」のフォローをしようとしていますが、たまに意図してしまつともあります</p>



各種イベントでの様子



第 35 回大津っ子まつり H30.5.20



「みんなで創る 健康しが」キックオフイベント H30.7.21



イナズマロックフェス 2018 H30.9.23



ご当地キャラ博 in 彦根 2018 H30.10.21



車いすバスケットボール大会 BIWAKOCUP2018 H30.12.16



愛称・スローガン発表・最優秀賞受賞者表彰式 H31.3.26

滋賀国体・障害者スポ大会愛称決定



表彰を受けた(右から)小笠原さんと本多さん。大津市・県公館

本多美喜さん(草津東高)の作品

スローガン「湖国の感動 未来へつなく」

2024年の滋賀国体(国民スポーツ大会)と全国障害者スポーツ大会の愛称とスローガンが決まり、県が26日発表した。公募作の中から、愛称は草津東高2年本多美喜さん(17)の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」、スローガンは守山中2年小笠原登真さん(14)の「湖国の感動 未来へつなく」が選ばれた。

2人に賞状が贈られた。本多さんは「滋賀をアルファベットで強調した。選手だけでなくボランティアも最高に輝けるように」、小笠原さんは「スポーツがもたらす感動や希望が未来につながる」との願いを込めたと話した。

両作品は、今年1月の一般投票でも最終候補各5点で最多の得票だった。

大津市の県公館で表彰式があり、

(岡本早苗)

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

決まった愛称・スローガンのロゴを手にする本多美喜さん(左から2人目)、小笠原登真さん(同3人目)ら。県公館で



国スポ愛称決まる

草津東高2年本多さん考案

県公館で、2024年度に県内で開かれる国スポ・障スポ大会(国民スポーツ大会)と全国障害者スポーツ大会の愛称を「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」(スローガンは「湖国の感動 未来へつなく」)とする案が選ばれた。

3/27(木) 毎日 → しが(26)

← 3/27(木) 京都 地域(25)

県公館で、2024年度に県内で開かれる国スポ・障スポ大会(国民スポーツ大会)と全国障害者スポーツ大会の愛称を「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」(スローガンは「湖国の感動 未来へつなく」)とする案が選ばれた。

などでも募集し、最終的に、草津東高2年の本多美喜さん(17)の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」(スローガンは「湖国の感動 未来へつなく」)が選ばれた。事前募集を通じて今年1月の一般投票を実施し、

滋賀国スポ・障スポの愛称「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」(スローガンは「湖国の感動 未来へつなく」)が選ばれた。事前募集を通じて今年1月の一般投票を実施し、

滋賀国スポ・障スポの愛称「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」(スローガンは「湖国の感動 未来へつなく」)が選ばれた。事前募集を通じて今年1月の一般投票を実施し、

滋賀国スポ・障スポの愛称「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」(スローガンは「湖国の感動 未来へつなく」)が選ばれた。事前募集を通じて今年1月の一般投票を実施し、

愛称「スローガン」が決定

滋賀国スポ・障スポ

【県】2024年に県で開催する第79回国民スポーツ大会、第24回全国障害者スポーツ大会の愛称・スローガンがこのほど決定し、考案した学生を招いた表彰式が県公館(大津市京町4)で行われた。

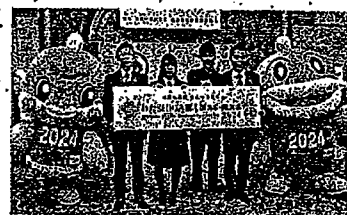
県によると、両大会共通のスローガンは「湖国の感動 未来へつなく」、愛称は「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」(スローガンは「湖国の感動 未来へつなく」)が選ばれた。事前募集を通じて今年1月の一般投票を実施し、

← 4/5(金) 滋賀報知

滋賀国スポ・障スポの愛称「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」(スローガンは「湖国の感動 未来へつなく」)が選ばれた。事前募集を通じて今年1月の一般投票を実施し、

滋賀国スポ・障スポの愛称「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」(スローガンは「湖国の感動 未来へつなく」)が選ばれた。事前募集を通じて今年1月の一般投票を実施し、

滋賀国スポ・障スポの愛称「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」(スローガンは「湖国の感動 未来へつなく」)が選ばれた。事前募集を通じて今年1月の一般投票を実施し、



ロゴデザインを手に並ぶ、受賞者ら

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
広報・啓発活動 平成 31 年度取組計画（案）

計画の 4 年目にあたる平成 31 年度においては、本県での第 79 回国民スポーツ大会の開催が内定されることから、開催内定周知活動を行うとともに、昨年度決定した大会愛称・スローガンを用いた開催周知・機運醸成に向けた取組や、大会マスコットキャラクター「キャプフィー」・「チャップフィー」（以下「大会マスコット」という。）のさらなる活用方法の拡充を中心に広報・啓発活動を推進する。

1 愛称・スローガン等による広報

(1) 大会愛称・スローガンを活用した広報

平成 30 年度に決定し、ロゴデザイン化した大会愛称・スローガンを用いて、あらたにバス等の公共交通機関を活用した広報活動を行う。また、あらゆる手法・場面において、大会愛称・スローガンを積極的に活用し、広報物品等への使用や県内イベントでの PR 活動等、愛称・スローガンを活用した広報を展開する。

(2) 大会マスコットの活用

あらゆる手法・場面において、大会マスコットを積極的に活用し、広報物品等へのイラストの使用や着ぐるみによる県内イベントでの PR 活動等、大会マスコットを通じた広報を展開する。

ア 競技別公式デザインの活用

競技別公式デザインを活用した印刷物や広報グッズ等での、大会マスコットのさらなる活用展開の拡大に加え、より多くの団体に広く活用いただけるよう広報を行う。

イ 貸出用着ぐるみの作製

一般貸出用の着ぐるみを新たに作製し、地域のスポーツ大会やイベント等で幅広く活用いただけるよう体制を充実する。また、クラウドファンディング等を利用し、県内外へ大会の周知・啓発をかねた寄附を募り、着ぐるみの新規作製費用に充てる。

(3) イメージソング選定に係る手法の検討

2020 年度の決定に向けた、募集方法や選定方法等の検討を行い、募集に着手する。

2 各種広報物品による広報

引き続き、各種広報物品の作成や、広報誌等を活用した積極的な広報活動を展開する。

(1) 大会広報誌の発行

大会開催の周知はもとより、現在の準備状況や取材記事等を掲載した大会広報誌を発行し、市町や学校、スポーツ施設など広く設置・配布を行う。

(2) ポスターの作成

教育委員会と連携し、児童・生徒・学生を対象としたポスターデザインコンクールを実施、大会広報用ポスターを作成する。

また、入賞作品の中から、昨年度構築したシステムを用いて、県内外からテーマに沿った写

真を募集し、応募のあった写真を活用したモザイクアートのポスターを作成する。

(3) 広報グッズの作成

イベント等で広く配布できるティッシュや大会マスコットの名刺等に加え、手提げ袋や、寄附に対する返礼品等、費用対効果のある広報グッズを作成する。

併せて、売り上げの一部を両大会への寄附金として取り扱う「寄附付き商品」として、ぬいぐるみ、SNSアプリのスタンプ等、幅広い世代を対象とした商品の開発・販売の検討を進める。

3 多様なメディアによる広報

平成 29 年度に開設した大会専用ホームページを積極的に活用し、開催準備状況等をタイムリーに提供できるよう努める。また、市町や関係団体等と連携し、SNS やテレビ・ラジオ番組・新聞等、様々な広報媒体を活用した広報を推進するとともに、マスコミに対し、積極的に情報発信を行いパブリシティを活用した広報に努める。

4 イベント等による広報

開催内定を周知するため、内定記念イベントを実施するとともに、各市町の集客力の高いイベントに出向き内定周知活動を行う。

また、継続して県や市町、各種団体等が主催するイベントや事業とのタイアップによる活動を進めるとともに、特に若者や女性、家族連れが多く集まるイベント会場や大型商業施設等での広報活動を重点的に展開する。

さらに、出前講座や寄附依頼に係る企業訪問等の実施により、開催周知に併せて大会への参画を呼びかける。

5 屋外広告物による広報

愛称・スローガンを使用したのぼり旗や横断幕を作製し、広報活動を実施する各イベントでの掲出・設置を行い、来場者や利用者に対して大会開催の周知を行う。

また、県内市町と連携し、通勤や通学での利用が多い鉄道駅自由通路に新たに広告物の設置を行う。

加えて、追加で内定のあった競技会場施設において、会場地市町や開催競技を表記したのぼり旗を設置するとともに、茨城国体・大会の会期中に滋賀県大津合同庁舎に特大横断幕の掲出を行う。

6 映像等による広報

各イベントでの広報活動や出前講座等において、大会のPR 動画（「子ども・若者参画特別委員会」ジュニア・ユースチーム第 4 期生制作）や「びわこ国体」・「びわこ大会」等の記録映像を上映し、大会の周知と参加意識の高揚を図る。

平成31年度 広報・県民運動専門委員会開催スケジュール(予定)

	平成31年度												令和2年度								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
開催準備委員会					◎ 第7回準備委員会総会・常任委員会												◎ 第8回準備委員会総会・常任委員会				
専門委員会			◎ 第13回専門委員会 (県民運動基本計画(案)大会愛称・スローガン選定案決定)		◎ 第14回専門委員会 (30年度取組実績、31年度取組計画、部会設置要綱改正)			◎ 第15回専門委員会 (県民運動アクションプログラム策定に向けた方向性)			◎ 第16回専門委員会 (県民運動アクションプログラム、イメーシング募集の方向性)		◎ 第17回専門委員会 (県民運動アクションプログラム(案)、イメーシング募集開始)	◎ 第18回専門委員会 (31年度取組実績、2年度取組計画)							
ポスター等選定部会						○ 第1回ポスター等選定部会 (案要項等の検討)			○ 第2回ポスター等選定部会 (入賞作品選定)												
イメーシング・スローガン選定部会									○ 第1回イメーシング選定部会 (募集、選定の方向性の検討)				○ 第2回イメーシング選定部会 (募集要項(案)、選定方法(案))	○ 第3回イメーシング選定部会 (最終候補作品の選定)							

新旧対照表

旧		新	
第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会 広報・県民運動専門委員会 部会設置要綱		第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会 広報・県民運動専門委員会 部会設置要綱	
第1条から第6条 (略) 別表(第2条関係)		第1条から第6条 (略) 別表(第2条関係)	
部会の名称	付託事項	部会の名称	付託事項
マスケットキョウラクタター選定部会	マスケットキョウラクタターの候補選定に関すること。	マスケットキョウラクタター選定部会	マスケットキョウラクタターの候補選定に関すること。
愛称・スローガン選定部会	愛称・スローガンの候補選定に関すること。	愛称・スローガン選定部会	愛称・スローガンの候補選定に関すること。
		ポスター等選定部会	大会公式ポスターの候補選定に関すること
		イメージソング・ダンス選定部会	イメージソング・ダンスの作成方法の検討および候補選定に関すること
			大会広報用ポスターの選定および決定に関すること

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会 広報・県民運動専門委員会 部会設置要綱（案）

（趣旨）

第1条 この要綱は、第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会専門委員会設置規程第5条の規定に基づき、広報・県民運動専門委員会（以下「専門委員会」という。）の部会の設置および運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（部会の名称および付託事項）

第2条 部会の名称および専門委員会からの付託事項および委任事項は、別表のとおりとする。

（部会の役員）

第3条 部会に部会長を置く。

- 2 部会長は、専門委員会委員長が指名する。
- 3 部会長は、部会を代表し、会務を総理する。
- 4 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長が指名した部会委員がその職務を代理する。

（任期）

第4条 部会委員の任期は、部会の目的が達成されたときまでとする。ただし、部会委員が就任時の機関、団体等の役職を離れたときは、その部会委員は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

（会議）

第5条 部会の会議は、部会長が招集し、議長となる。

- 2 部会長は、付託事項の審議結果について、専門委員会に報告するものとする。

（庶務）

第6条 部会の庶務は、第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会事務局において行う。

附 則

この要綱は、平成28年9月8日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年8月30日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年2月12日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年5月10日から施行する。

別表（第2条関係）

部会の名称	付託事項	委任事項
マスコットキャラクター 選定部会	マスコットキャラクター の候補選定に関する事 こと。	
愛称・スローガン 選定部会	愛称・スローガンの候補選 定に関する事 こと。	愛称・スローガンの規程書 体の決定に関する事 こと。
ポスター等選定部会	大会公式ポスターの候補 選定に関する事 こと	大会広報用ポスターの選 定および決定に関する事 こと
イメージソング・ダンス 選定部会	イメージソング・ダンスの 作成方法の検討および候 補選定に関する事 こと	

説明・報告事項

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
愛称・スローガンについて

2024年に滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の愛称・スローガンおよび愛称・スローガン等のロゴデザインが決定しました。

1. 愛称・スローガンの応募状況

募集期間：平成30年9月20日～11月12日（54日間）

応募点数 愛称：10,601点、スローガン：10,209点

2. 最終候補作品への一般投票結果

愛称・スローガン最終候補作品各5作品に対し、一般投票を実施。

投票期間：平成31年1月16日～31日（16日間）

投票数 愛称：10,722票、スローガン：10,567票

3. 採用作品（最優秀賞受賞作品）

愛称：わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

<趣旨>

選手、ボランティアをはじめ、県民、来県者など滋賀県で開催する両大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

スローガン：湖国の感動 未来へつなぐ

<趣旨>

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、両大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いを込めています。

4. ロゴデザイン

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 2024



<説明>

年齢、性別、障害のあるなしに関わらず、すべての人が関わり、参加できる両大会を目指すことから、優しさ、親しみやすさを感じられる書体を使用し、文字の一部にびわ湖をあしらうことで、滋賀県での開催を表現しています。

全体の配色は、大会マスコットキャラクターとの統一感をもたせています。

モザイクアートポスターについて

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会を周知するためのポスターデザインが決定しました。

1. 応募状況

募集期間 : 平成30年9月20日～11月30日 (72日間)

募集テーマ : 滋賀県の魅力またはスポーツ・運動の魅力を表現した写真

2. 応募結果

	応募総数	2,097点
(内訳)	Twitter	64点 (3.0%)
	Instagram	676点 (32.2%)
	メール	37点 (1.8%)
	しがネット受付	828点 (39.5%)
	イベントでの応募	492点 (23.5%)

3. 完成図



4. 今後の予定

5月中旬より県内学校、公共施設、文化・スポーツ施設等に送付・掲示 (約 800 施設)

參考資料

平成27年(2015年)8月31日
第3回常任委員会決定
(第3回総会一部改正)

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会 広報基本方針

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）の広報については、第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、大会の開催意義を広く県民に周知し、その理解を深めることにより、大会への参加意識の高揚を図り、県民総参加でつくる大会につなげるとともに、滋賀や大会の魅力在全国に発信するため、次のとおり実施する。

- 1 県、市町、関係機関・団体、大学、企業、NPO、ボランティア等の多様な主体との連携・協働のもと、各種の広報媒体を戦略的かつ効果的に活用し、大会の積極的な広報に努める。
- 2 報道機関との連携や、インターネットをはじめとした多様なメディアの活用により、大会に関する情報を迅速かつ広域に伝達するとともに、環境へのこだわり、歴史、文化、自然等の多彩な滋賀の魅力在全国に発信する。
- 3 大会を象徴し、広く県民に愛されるような愛称・スローガン、マスコット等を制定し、その普及を図ることにより、大会開催の機運を高める。
- 4 大会の記録映像、記録写真集等を制作し、その感動と興奮を永く記録にとどめるとともに、大会の開催成果を滋賀の財産として未来へ継承する。

平成 28 年(2016 年) 8 月 3 日
第 4 回 常 任 委 員 会 決 定

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 広報基本計画

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」と総称する。）に向けて、第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会広報基本方針に基づき、次の広報活動を積極的かつ効果的に推進する。

1 目的

大会の開催意義を広く県民に周知し、その理解を深めることにより、大会への参加意識の高揚を図り、県民総参加でつくる大会につなげるとともに、滋賀や大会の魅力を全国に発信することを目的とする。

2 広報の手法

(1) 愛称・スローガン等による広報

大会を象徴する愛称・スローガン等を策定し、普及する。

- ①愛称・スローガンの制定および普及
- ②マスコットキャラクターの制定および普及
- ③イメージソング・ダンス等の制定および普及

(2) 各種広報物品による広報

各種広報物品の作成や既存の広報誌等を活用した、積極的な広報活動を展開する。

- ①大会広報誌の発行
- ②ポスターの作成
- ③パンフレット、リーフレット、ちらしの作成
- ④広報グッズの作成
- ⑤各種ガイドブックの作成

(3) 多様なメディアによる広報

報道機関との連携およびインターネットなど多様なメディアにより、広域的かつ効果的な広報活動の展開を図る。

- ①新聞、ラジオ、テレビ等による広報活動の推進
- ②県や市町、各種団体等の広報媒体の活用
- ③専用ホームページの開設やSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、動画共有サイト等のソーシャルメディアの活用

(4) イベント等による広報

大会開催までの節目などにおいてイベントを開催するとともに、各種イベントや事業と連携した広報活動を実施する。

- ①開催内定イベント、開催決定イベント等の開催
- ②県や市町、各種団体等が主催するイベントにおけるPR活動等の実施
- ③「しがスポーツ大使」の参加するイベントとのタイアップ
- ④「子ども・若者参画特別委員会(通称：ジュニア・ユースチーム)」との連携
- ⑤出前講座を活用した広報

(5) 屋外広告物による広報

広告塔や横断幕等を設置して大会開催の広報に努める。

- ①のぼり、横断幕、懸垂幕の設置
- ②歓迎塔、歓迎アーチ等の設置
- ③広報看板、カウントダウンボード等の設置

(6) 映像等による広報

県民の参加意識の高揚を図るため、映像を活用した広報を実施する。

- ①先催県の大会映像等(DVD等)の貸出
- ②広報用映像の制作およびインターネット等での公開

(7) 記録映像等の制作

大会の成果を永く記録にとどめるため、記録映像等を制作する。

- ①記録映像の制作
- ②記録写真集の制作

(8) 参加章等の作成

大会の開催を記念し、大会参加章や記念章を作成する。

(9) その他広報

その他、広報基本方針に基づき、効果的な広報を実施する。

3 活動展開の指針

(1) わかりやすい広報

見る側や聞く側など、受け手に配慮した、誰にでも伝わるわかりやすい広報に努める。

(2) 媒体の特性に応じた広報

それぞれの広報媒体の強みを活かした広報に努める。

(3) 状況に応じた広報

時間や場所、タイミングに配慮した広報を実施するとともに、その時々で最も効果的な広報媒体による情報発信に努める。

(4) さまざまな主体との連携・協働

県民総参加でつくる大会に向け、大会の広報についても、県内の多様な主体と連携・協働のもとに展開する。

(5) 募金活動との連携

募金活動における取組とも連携して広報活動を実施し、相乗的な効果を生み出せるように努める。

(6) 大会後につながる広報

大会に向けた広報はもちろん、大会終了後も多くの方々が滋賀県を訪れていただけのように、滋賀の持つ魅力の発信にも努める。

(7) 受け手の声を反映する広報

広報活動を実施する際に、できる限り受け手の声を取り入れ、今後の広報活動や大会運営にも活かすよう努める。

4 構成員の役割

開催準備委員会の構成員は、各々の特性に応じた広報活動を行うとともに、互いに連携・協働しながら大会や滋賀の魅力を発信するよう努める。

5 基本計画の進行管理

基本計画については、取組の進捗状況等を「広報・県民運動専門委員会」において毎年検証するとともに、必要があるときは、開催準備委員会の常任委員会の議決を経て変更する。

全体スケジュール

	H28 (2016) 8年前	H29 (2017) 7年前	H30 (2018) 6年前	H31 (2019) 5年前	H32 (2020) 4年前	H33 (2021) 3年前	H34 (2022) 2年前	H35 (2023) 1年前	H36 (2024)	
				開催内定		開催決定		リハール大会	開催	
方針・計画	広報基本計画	基本方針	基本計画							
大会愛称・スローガン等 による広報	マスコミキャラクターの選定 (H29年度に決定、 第5回総会で報告)		大会愛称・スローガンの 募集・決定		イメージ ソング等 の募集・決定					
各種広報物品による広報	ポスターやちらし、パンフレット、リーフレット、広報グッズの作成									
	大会広報誌の発行									
									各種ガイドブックの作成	
多様なメディアによる広報	新聞、ラジオ、テレビ、インターネット等による広報活動の推進 県や市町、各種団体等の広報媒体の活用 ソーシャルメディアの活用									
	県ホームページでの 情報発信	専用ホームページの開設								

	H28 (2016) 8年前	H29 (2017) 7年前	H30 (2018) 6年前	H31 (2019) 5年前	H32 (2020) 4年前	H33 (2021) 3年前	H34 (2022) 2年前	H35 (2023) 1年前	H36 (2024)
				開催内定		開催決定		リハール大会	開催
イベントによる広報				開催内定 イベント		開催決定 イベント		開催1年前 イベント	開催直前 イベント
	各主体が主催するイベント等における広報活動、「しがスポーツ大使」の参加イベントとのタイアップ、「子ども・若者参画特別委員会」との連携、出前講座を活用した広報								
屋外広告物による広報							のぼり、横断幕、懸垂幕の設置		
							広報看板、カウンタダウンボード等の設置		
								歓迎塔、歓迎アーチ等の設置	
映像等による広報							先催県の大会映像等の貸出		
							広報用映像の制作およびインターネット等での公開		
記録映像等の制作									大会記録映像や記録写真真集の制作(大会後)
参加章等の作成									参加章、記念章の作成

平成 30 年(2018 年) 5 月 21 日
第 6 回 常任委員会 決定

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本方針

1 目的

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」といいます。）の開催に向けて、県民一人ひとりが身近なことから関わって、「大会を盛り上げよう！」という気持ちが滋賀県内に大きく広がり、滋賀を訪れる方々をあたたかく迎える人と地域の機運を高めるために、みんなで取組を進めます。

また、大会の開催を契機に、生涯にわたって気軽に親しめる「マイスポーツ」の発見や、その活動を通じて生まれる様々な人との交流の輪を広げるとともに、滋賀の良いところを発信することで自分が住む地域の魅力を再発見し、滋賀を愛するところを育て、その運動が大会終了後も人や地域に定着することを目的とします。

2 基本目標

- (1) 「滋賀といえばこれ！」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀！」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。
- (2) いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。
- (3) 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

3 運動の進め方

県民の方々や企業・団体みなさんに運動が広がるよう、県・市町・競技団体はもとより、県準備（実行）委員会の構成員は互いに連携・協働しながら取り組みます。

平成 31 年 (2019 年) 2 月 12 日

第 13 回広報・県民運動専門委員会決定

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本計画 (案)

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会県民運動基本方針に基づき、第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会の県民運動は、県民一人ひとりが、様々な形で大会に参加、協力し、理解を深めることにより、「県民」・「来県者」がともに満足し、「滋賀県」に将来に渡って引き継がれるレガシーを遺す「三方 (さんぼう) よし」の大会を実現するために、以下の取組を推進します。

また、「健康長寿」、「ボランティア活動の年間行動率」など本県が「日本一」である特徴を活かした取組を展開します。

1 取組

(1) 「滋賀といえばこれ!」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀!」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。

- ・ 琵琶湖を中心とした豊かな自然や歴史、文化、食など滋賀の地域資源でもてなします。
- ・ 福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が快適に過ごせるようもてなします。
- ・ 滋賀県選手はもとより、県外の選手に対してもあたたかな声援で応援します。
- ・ 手作りののぼり旗や横断幕などで歓迎します。
- ・ あいさつ運動やマナーアップ運動を展開し、明るい笑顔で元気なあいさつ、親切な応対等、琵琶湖のようにさわやかにもてなします。
- ・ 花いっぱい運動やクリーンアップ運動を展開し、琵琶湖・河川・道路等の環境美化に努め、きれいな街でもてなします。
- ・ 交通安全運動や防犯運動を展開し、安全・安心に過ごせるようにします。

(2) いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。

- ・ デモンストラーションスポーツや会場地市町等におけるスポーツ教室、各種スポーツイベント等に参加します。
- ・ 障害のあるなしや年齢などに関わらず、誰もが楽しめるスポーツに取り組み、交流を通じ、障害に対する理解を深めます。
- ・ ライフステージに応じたスポーツ活動に取り組み、健康長寿日本一を継続します。
- ・ 両大会にゆかりのある、滋賀のアスリート等と交流します。
- ・ 両大会のイメージダンスを覚えて、踊ります。
- ・ 両大会をはじめとする各種競技会などに出かけ、観戦・応援します。
- ・ 地域のスポーツ活動を応援します。

(3) 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

- ・ ボランティア活動の年間行動者率日本一を活かし、障害のあるなしや年齢に関わらず、県民総参加で取り組みます。
- ・ スマートフォン・パソコン所有率日本一を活かし、大会に関するイベント等の情報をSNS等で発信します。
- ・ 子ども・若者・女性の関心を高める広報やイベントを通じて、両大会の参加を促します。
- ・ 開・閉会式など両大会の関連イベント・行事等に参加します。
- ・ 両大会に関するボランティア活動に、積極的に参加します。
- ・ 両大会をはじめとする競技会などに出かけ、あたたかく応援します。
- ・ 両大会のイメージソングやイメージダンスによって、心をひとつにして盛り上げます。
- ・ 募金や企業協賛で、両大会の開催準備・運営を支援します。

2 取組の進め方

- (1) 県準備（実行）委員会は、全体的な計画や取組を定め、この運動の普及・啓発活動を行うとともに、市町準備（実行）委員会や各種団体等と連携し、全県域における運動を展開します。
- (2) 市町準備（実行）委員会は、地域の特性に応じた計画や取組を定め、地域における普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力し、市町における運動を展開します。
- (3) 学校や企業、NPO法人、各種団体等は、それぞれの活動の中でその特徴を活かした県民運動を企画し、取組を行うとともに、県および市町ならびに各主体の運動に参加・協力します。

3 主な推進スケジュール

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年
	開催内定		開催決定		リハーサル大会	リハーサル大会 大会開催
計画など	基本 県民 計画 運動	ブ ア 県 民 運 動 ラ イ オ ン				
関連イベント	開催内定 周知活動		開催決定 イベント		開催1年前 イベント	開催直前 イベント



国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会 ～ 開催に向けた2019年度の主な取組 ～



開催準備委員会

負担金 45,000千円

(1) 各競技会場の選定

- ◆国スポ正式競技の会場地選定については、調整中の8競技のうち、調整が終了したものを第5次内定(案)として、国スポ公開競技と障スポ正式競技についても調整が終了した競技について第1次内定(案)として、2019年4月開催の「総務企画専門委員会」で審議のうえ、5月開催の「常任委員会」に諮り決定する。(残る競技については、2019年度中に調整。)
- ◆内定済みの競技については、引き続き中央競技団体の正規視察を受け入れ。
- ◆国スポデモンストレーションスポーツ、障スポオープン競技の募集を開始。

(2) 開催準備委員会における大会準備

①「開催基本構想」の策定

- ◆大会準備・運営および大会終了後のレガシー創出の指針となる「開催基本構想」を2019年5月の常任委員会で策定。

②競技運営にかかる検討

- ◆国スポの競技会運営において資格が必要な役員等の養成を進めるとともに、国スポにおける役員編成について、具体的な検討に着手。
- ◆大会開催時に必要な競技用具整備に向けた具体的な検討に着手。
- ◆リハーサル大会の開催基準要項の策定に着手。

③宿泊・衛生にかかる検討

- ◆大会開催時の配宿計画作成の前段階となる仮配宿計画を策定するほか、宿泊施設充足対策要項策定に着手。

④輸送・交通にかかる検討

- ◆総合開閉会式における輸送計画を検討するとともに、各市町の輸送業務の指針となる会場地市町輸送・交通業務指針策定に着手。

⑤全国障害者スポーツ大会特有の準備

- ◆大会開催時に必要な情報支援ボランティアの養成に向けた検討を実施。

⑥式典・会場/警備・消防にかかる検討

- ◆式典・会場、警備・消防の専門委員会を新たに設置し、基本方針策定に向けた検討を実施。

(3) 開催機運醸成に向けた取組

①広報・県民運動の展開

- ◆開催内定を記念したイベントを実施するほか、大会に向け、大会マスコットキャラクター「キャプフィー＆チャップフィー」を積極的に活用するとともに公共交通機関を活用した広報やスポーツイベントにおける広報を行い、大会の認知度向上に努める。
- ◆大会専用ホームページを通じた情報発信を積極的に実施。
- ◆県民運動の具体的な取組内容について検討を実施。

②寄附募集の推進

- ◆寄附を通じて「滋賀のスポーツを応援」いただけるよう、広報活動と連携しながら、県民・企業の皆様に対し、積極的に呼びかけを実施。
- ◆いただいた寄附金は、「滋賀県競技力向上対策本部」で実施する、スポーツ選手の発掘、育成および強化に要する経費や、(仮称)彦根総合運動公園・新県立体育館などの施設整備に要する経費に充当。

③子ども・若者参画特別委員会(ジュニア・ユースチーム第6期)活動の展開

- ◆他県にはない『滋賀オリジナル』の取組として、小学生～大学生世代の子どもや若者で構成する「ジュニア・ユースチーム」が、その柔軟な視点や発想を活かし、両大会はもとより、広く県のスポーツ推進に関する課題等について調査研究を実施。

「開催申請書」の提出

- ◆文部科学省および公益財団法人日本スポーツ協会へ開催申請書を提出し、国民スポーツ大会の開催内定を得る(2019年7月17日予定)。

市町競技施設整備費補助

376,300千円

- ◆競技会場となる市町立施設の整備に要する経費に対する補助を実施。

基金の積立て 等

28,508千円

- ◆「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会運営等基金」に、企業や県民の皆様からいただいた寄附金を積み立てるとともに、一部を取り崩し、2019年度に実施する競技力向上対策事業に充当。(2018年度末残高見込:約3,683百万円、2019年度事業充当 500千円)

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 開催準備スケジュール

